

健康教育の推進

1 体育、保健体育授業の工夫改善

本管内の体力の状況は、小・中学校ともに年々向上が見られ、これまでの取組の成果が表れているといえます。

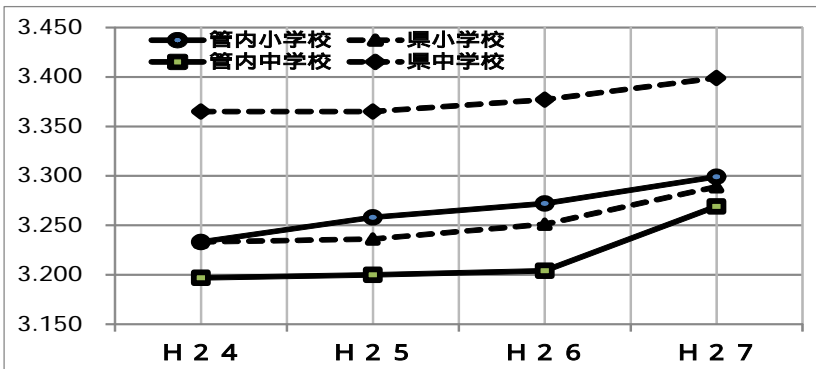
しかしながら、県平均との比較で見ると、小学校で県平均をやや上回りますが、中学校では下回る状況です。(右図参照)

全国体力・運動能力、運動習慣等調査によると、運動が嫌いな児童生徒の多くは、「授業で上手くできなかったから」を理由に挙げています。

一方、「体育の授業は楽しい」と回答した児童生徒は、「できるようになった」きっかけとして、「授業中に先生にコツやポイントを教えてもらった」「友だちに教えてもらった」とその理由を挙げています。

このことは、体育・保健体育授業の充実を目指し、私たちが日々の授業の工夫改善に取り組んでいくことの重要性を示しているといえます。

【総合評価値での県平均比較】



総合評価値とは、個人の判定結果A～Eにそれぞれ5～1の点数を付け、平均を算出した数値

(1) 授業の工夫改善のポイント

- 1 見通しをもった学習
- 2 課題の的確な把握
- 3 課題解決のための言葉かけの工夫
- 4 効果的な練習方法のヒントの工夫
- 5 教え合いや学び合いを生み出す工夫

単元の学習計画表の提示

学習カードの使用

学習資料の提示
・ICT器機の活用
・技能ポイントカード(段階表)

課題解決のための場の設定

言語活動充実場面の設定

(2) 教え合いや学び合いを生み出す工夫

児童生徒の教え合いや学び合いを生み出すためには、言語活動の充実場面を授業の中に位置付ける必要があります。言語活動の充実場面は以下のような場面が考えられます。

<例>

- ・「めあての設定」
- ・「活動の振り返り」
(カードへの記載、発表)
- ・「作戦を立てる」
- ・「ルールを工夫する」(話し合い活動)
- ・「課題解決のために情報を伝え合う
教え合う」

→ 課題 話し合いの時間の増加 運動量の減少

↓
時間(量)を広げるのではなく、内容(質)を高める
教師からの情報発信が重要(話し合いの内容・方法)

- ・資料(ICT器機を含む) 助言等
- ・学習カード(身に付けたこと、考えたこと等)
- ・運動の場(子ども同士の教え合い)

(3) 授業改善例

球技（ネット型・バレーボール）1年 本時（8 / 10）

熊本県教育委員会ホームページ「義務教育」 「学習評価の一層の充実に向けて」より（一部改変）

<p>1 整列・挨拶</p> <p>2 本時の学習の見通しを持つ</p> <p>3 準備・ウォーミングアップ ・ストレッチ、ボールを使って</p> <p>4 パスの練習 徹底指導 ・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス</p> <p>5 本時の目標を確認する。</p>	<p>単元の学習計画表</p> <p>技能ポイントカード (図)</p> <p>学習カード</p>	<p>本時の目標 自分の技術の課題を見つけることができる。 【思考・判断】 ゲームの中で、チームの仲間や相手の健闘をたたえようとする。【関心・意欲・態度】</p>
<p>自分のパスについて、技術的課題を見つけて練習するとともに、ゲームでは成功・失敗にかかわらず仲間や相手の健闘をたたえよう。</p>		
<p>前時までの学習を想起し、自分の課題となる部分を見つけ、チームで伝え合う。</p>	<p>目標は、必ず掲示します。また、生徒が理解できるように具体例等を示します。自分の課題を伝え合うことで、生徒同士の教え合いが活発になり、課題の解決に向かうことができます。</p>	
<p>6 自分のチームの課題に応じ、チームで協力して練習する。 能動型学習 ・パスの形を作る練習 ・動きながらのパス練習 ・準備姿勢(構え)の練習 等</p>	<p>技能ポイントカード(図) 練習方法図(カード) VTR, ICT</p>	<p>ポイントカードや練習方法図(カード)等の学習資料は、教え合いを生み出し、活性化させます。</p>
<p>< 苦手意識を持つ生徒への指導 > 例) アンダーハンドパスで、肘が曲がり正確なパスがだせない。 手首を返して(組んだ手の親指を下に向けて)</p>		
<p>7 ゲーム(総当たり戦) ・役割分担 ・ゲーム記録</p>	<p>生徒がイメージできるように、動きを具体的な言葉で指導します。先生の指導言葉が生徒同士の教え合いの言葉につながります。</p>	
<p>ゲーム記録は、振り返りの際の有効な資料となります。</p> <p>< ルールの工夫 > 単元の導入で基本的なルールを提示し、ゲームを行う中で課題があれば生徒と話し合っ変更します。(単元の前半でルールを固めます。)</p>		
<p>8 本時の振り返りをする。 ・チーム毎に目標の振り返りを行う。</p>	<p>振り返りでは、本時の課題の達成状況を評価させるとともに、頑張っていた生徒を取り上げるなどして、有能感を高めます。</p>	
<p>9 後片付け、整理運動をする。 次時の学習について確認する。</p>	<p>学習カード ゲーム記録</p>	

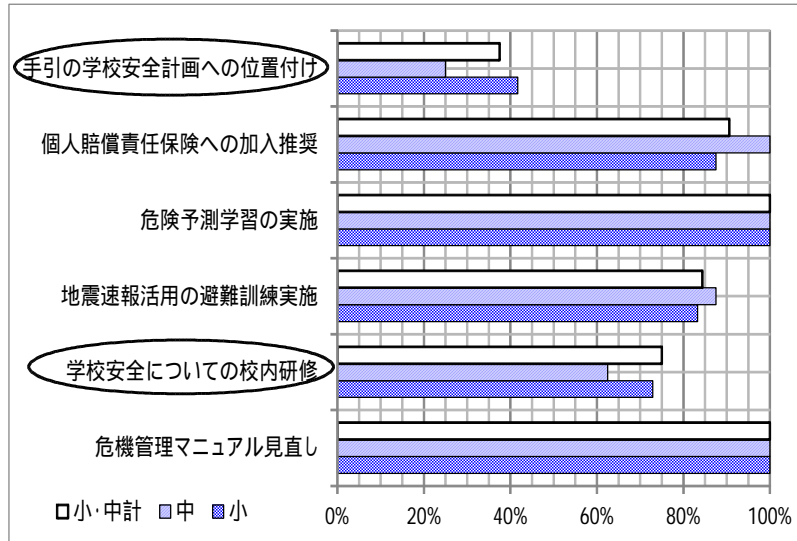
2 学校安全の推進

学校安全は、児童生徒が自他の生命尊重を基盤として、自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成するとともに、児童生徒等の安全を確保するための環境を整えることをねらいとしています。

本年度の学校安全に係る調査（H27.12実施）では、すべての学校で学校安全計画を策定いただき、3つの領域（生活安全、交通安全、災害安全）について、「安全管理」、「安全教育」、「組織活動」の各分野から積極的に取組を進めていただいている状況が分かりました。一方、学校安全に関する校内研修が安全計画に位置付けられていないなどの課題も見えてきました。（右図参照）

今後の取組の充実のために、課題を整理し、学校安全計画策定と取組のポイントについて解説します。

【学校安全に係る調査より（一部抜粋）】



(1) 「学校安全計画」について

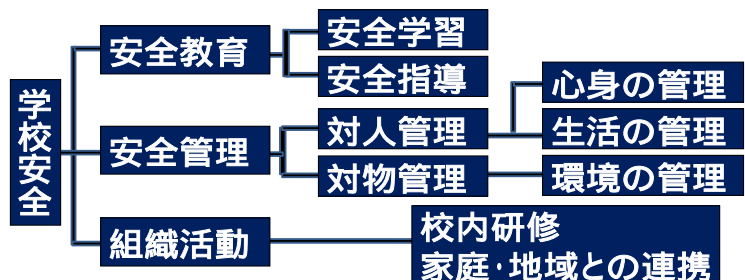
【学校保健安全法27条】

学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、当該学校の施設及び設備の安全点検、児童生徒等に対する通学を含めた学校生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修その他学校における安全に関する事項について計画を策定し、これを実施しなければならない。

児童生徒等の事件・事故はあらゆる場面において発生する可能性があります。したがって全職員が学校安全の重要性を認識し、様々な取組を総合的に進める必要があります。

児童生徒の安全安心のためには、学校安全の運営方針や取組のねらい・内容等について共通理解が図られるようにするとともに、体制を整え、計画に基づく取組を進めていくことが重要です。内容については右図を参照してください。

【学校安全計画の内容】



(2) 取組のポイント

自校の学校安全計画をチェックし、改善点を明らかにしていきましょう。

<チェックポイント>

組織活動に、職員の研修が位置付けられていますか？

YES / NO

NO

危険等発生時対処要領（危機管理マニュアル）等に関する校内研修の位置付けをお願いします。（心肺蘇生法（AED）等のPTAとの合同研修も組織活動に当たります。）



適切な取組のために、PDCAサイクルを機能させましょう。特に、危機管理マニュアルについては、児童生徒の引き渡し方法をはじめとして、保護者に周知し、共有化し、改善していくことが重要です。

安全教育に「学校安全教育指導の手引」は位置付けられていますか？

YES / NO

NO

「学校安全教育指導の手引」の指導編（学級活動で活用可）や知識編（職員研修で活用可）の計画への位置付けをお願いします。

【「学校安全教育指導の手引」の学校安全計画への位置付けの例】

4月目標「安全な登下校をしよう」		1単位時間程度の指導		短い時間の指導
安 全 教 育 指 導	学 級 活 動	第1学年	自転車の安全な利用と点検・整備(指導編)	下線部は、手引の掲載内容
		第2学年	通学路の確認 転落事故から身を守る 自転車の安全な乗り方(知)	
		第3学年	通学路の確認 不審者から身を守る(知識) 自転車の安全な乗り方(知)	
	生徒会活動		新生入生への通学指導	

自転車編Ⅱ

◎自転車運転者の義務

道路交通法第70条(安全運転の義務)
車両等の運転者は、当該車両等のハンドル、ブレーキその他の装置を確実に操作し、かつ、道路、交通及び当該車両等の状況に応じ、他人に危害を及ぼさないような速度と方法で運転しなければならない。

運転に際しては、道路交通法に定められた通行方法に従うなどのほか、常に安全を確保するよう注意を払わなければならない。

安全運転義務においては、次の2点が求められている。

自転車は、くるま(車両)です!!

自転車は、つるつるかま?

交通安全領域 中学校【第1～3学年】
指導区分「自転車の安全な利用と点検・整備」

学校行事 交通安全教室 ↔ 学級活動 加害者の責任と確保対策 ↔ 保健体育(保健) 傷害の防止

■学級活動における指導例

(1) 題材名 自転車による交通事故(自損事故・加害事故)の防止

(2) わらい 加害事故の責任を理解し、安全な自転車利用のための備えについて考えることができる。

(3) 展 開

活動内容	★発問等	○教師の支援	◎指導ポイント	◆評価
1 映像「あなたの人生も変える加害事故」 【JA共済「自転車交通安全教育DVD」 チャプター6の前半(～2分30秒)を見る。 ★同じ様な経験や見たり聞いたこと を思い出してみよう。				
2 どんな時に事故が起こりやすいか考える。				

加害事故の責任を理解し、安全な自転車利用の備えについて考えよう。

安全指導に、「緊急地震速報」を活用した避難訓練が位置付けられていますか？

YES / NO

NO

毎年11月5日（津波防災の日）に全国的な取組として「緊急地震速報訓練」（シェイクアウト）が行われています。是非、計画へ位置付け、地域と連携した避難訓練等に活用をお願いします。地震による火災発生と想定し、地震・火災訓練としても実施可能です。

緊急地震速報は、専用の受信端末で受信することになっていますが、気象庁がHPで提供している訓練用の音声・映像を活用することもできます。また、音源CDは各学校に配付済みです。

県教育委員会ホームページから、「健康教育」「学校安全」「学校安全計画例」、同じく「健康教育」「学校安全」「学校での事件・事故発生時の対応マニュアル」、また、「学校安全教育指導の手引」(H27.3熊本県教育委員会)は、計画や指導の参考になります。どうぞ御活用ください。